

TMS SEMINAR

Name

美馬 達哉 先生

京都大学医学研究科准教授

高次脳機能総合研究センター

Title 経頭蓋的磁気刺激法 (Transcranial Magnetic Stimulation:TMS)の原理とヒト脳可逆性研究への応用

Place

国立長寿医療センター 東棟 2階会議室

Date

平成22年2月8日(月)

Time

18:00 ~ 19:00

TMS は、頭皮上に磁気コイルを置き、そこにパルス電流を流す装置である。コイルに発生した強力な磁場が、脳内に誘導電流を生み出し、非侵襲的に神経細胞を発火させることが可能である。神経細胞の興奮により、筋電図反応、錯覚、行動上の変化などが生じる。臨床的には、神経内科・整形外科の領域において運動機能（錐体路）の評価、また神経内科・精神科・耳鼻科などでの治療の目的に用いられている。この点については、とくに、反復刺激や他の刺激との組み合わせによる脳可塑性の誘導を臨床応用する（たとえば、脳卒中後のリハビリテーションなど）ことが注目される。このセミナーでは、TMS の基礎について概説し、我々の施設で行っている TMS を用いた脳可塑性の研究を紹介する。

連絡先：国立長寿医療センター研究所・長寿脳科学研究部 中村昭範（5211）